

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市地域づくりサポートセンター
(2) 指定管理者	所在地 岡山県岡山市北区表町1丁目4-64 名称 特定非営利活動法人みんなの集落研究所 代表者 代表執行役 石原 達也
(3) 公の施設の所管部署	地域振興部地域づくり推進室
(4) 指定期間	平成30年10月1日～令和3年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	707人(前年度1,069人)
(2) 事業の内容	・当該施設運営管理(普及広報、利用促進) ・地域づくり活動及び市民活動の支援に関する業務 (相談対応、情報収集・発信、関係機関とのネットワーク構築)

## 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 4,188千円(前年度4,037千円) 指定管理料 4,074千円 自主事業収入 114千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 4,188千円(前年度4,037千円) 主な支出 施設管理費(含人件費) 3,012千円 共益費 420千円 事業経費 756千円

## 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>当センターを運営する中で、随時利用者から意見・要望をヒアリングしている。当センターに寄せられた相談内容をもとに自主事業として月に1回程度、参加者が理解できるまでとことん情報交換できる場としてゆんたくする会等の勉強会を実施した。</p> <p>前年度に引き続き「補助金や助成金の情報が欲しい」というお声については、コロナ禍で説明会開催が難しい中、講師をオンライン登壇にし、助成金や補助金を用いた資金調達の勉強会を開催。「地域で活躍する若者の交流する場が少ない。地域の取り組みに積極的に参加している若者の話を聞く場が欲しい」というお声については、地域で活躍する若者2名を講師に招き、地域づくりに参加する前と後の気持ちの変化、なぜ地域づくりに参加しているのか等、若者を巻き込みたい地域の方に向けて座談会を開催。その他にも利用者からの意見・要望に基づいた事業を企画・実施している。</p> <p>最終回となった「これからの地域づくりってどうなるの？教えて！リーダー！」と題した座談会では、「津山市をフィールドにさまざまな分野で地域づくりに携わるリーダー同士が集結してセッションし、その考えを市民と共有する場が欲しい」というお声から企画。リーダー同士の共通認識や展望的な考えを市民に共有できる会となった。</p>
-----------------	--

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>前年度に引き続き、利用者拡大を目指して、ウェブサイトやいきいき新聞の発行等の情報発信に力を入れて運営した。</p> <p>様々な講師を招き、利用者のニーズに沿ったテーマで企画・運営した。コロナ感染拡大による外出自粛の影響による利用者減少や勉強会等の開催困難であったが、その中で県南のゲストとオンラインで接続しての開催などインターネットを活用した企画など新しい生活様式に対応した運営に取り組んだ。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>指定管理者は、地域づくりの専門家集団として高いスキルとノウハウを有しており、コロナ禍の施設使用制限で利用者が減少する中、積極的にオンラインやYouTube 配信を取り入れ、研修・交流機会の増進、情報発信に務めた。また、資金調達や地域づくりの担い手に関する勉強会を開催するなど、要望の多い案件をテーマに選定し、若い世代や女性参加の取組を進めた。</p> <p>一方で、本施設が庁舎外にあることで、担当課である地域づくり推進室が実施する地域支援事業との連携が十分でなかったこと、相談者が市庁舎とサポートセンターの両方に出向くことになる負担が生じたこと、利用者が既存の組織などに限定的であったこと等の課題が浮き彫りとなった。</p> <p>そのため、令和3年度以降は、機能を本庁舎へ移転・集約、運営も指定管理者から市直営に変更し、利用者の利便性向上を図るとともに課題検証等を行っていくこととしている。</p>